

文教大学

国際学部・経営学部 教職課程(中・高免) オリエンテーション

2026年4月1日
東京あだち教育支援課



BUNKYO UNIVERSITY

文教大学

教職課程について

幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教員は、原則として、学校の種類ごとの教員免許状が必要
(文部科学省「教員免許制度の概要」)

教員免許状を取得するには、文部科学大臣に認められた教職課程を有する大学等で「基礎資格」を得て所定の単位を修得し、都道府県教育委員会に申請しなければならない。

BUNKYO UNIVERSITY

文教大学

取得できる免許状

学科	自学科で取得できる免許状	備考
国際理解学科	○中学校教諭一種「社会」と高等学校教諭一種「公民」 ○中学校教諭一種「英語」と高等学校教諭一種「英語」	・中高の免許はセットで取得 ・いずれか一方のみ取得可
経営学科	○高等学校教諭一種「商業」	

BUNKYO UNIVERSITY

文教大学

免許状取得までの流れ

教職課程履修の登録を行う

↓

介護等体験に参加する
(中免取得の場合のみ)

↓

教育実習に参加する

↓

卒業と同時に教員免許状取得

↓
必要な単位を修得する

BUNKYO UNIVERSITY

文教大学

免許状取得のための単位について

教員免許状の取得には、以下の三つの科目区分の単位を修得しなければなりません。

免許状等	免許状取得のための基礎的科目	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等
中「社会」・高「公民」	P125	P126	P127
中「英語」・高「英語」		P128	P129
高「商業」	P137	P138	P139

※P～は、『2026年度履修のてびき』の参照ページ

BUNKYO UNIVERSITY

文教大学

免許状取得のための基礎的科目

免許状取得のための基礎的科目 (免許法施行規則第66条の6に定める科目)

- どの免許状を取得するにも修得が必要な8単位で、免許状取得のためにはすべて**必修**
(日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作)
- 自分の学部・学科で指定された科目を修得すれば、他学科の免許状を取得する場合に使いまわしが効く
- 「日本国憲法」と「スポーツ・健康実習」「健康科学」は各学部の共通教育科目
→意識して早めに修得すること(「スポーツ・健康実習」は抽選科目)

BUNKYO UNIVERSITY

教科及び教科の指導法に関する科目
《教科に関する専門的事項》

- 免許状ごとの教科の内容に関する科目
- 各学部学科の**卒業のための科目を兼ねる**
→たとえば、中高「英語」(P128)の「国際理解とコミュニケーション」は、「英語」の免許状を取得するための科目であると同時に、国際理解学科の選択必修科目でもある
→その科目の単位を修得すれば、両方の意味として使用できる
- 『履修のてびき』の各表にある、「修得すべき単位数」の指定にしたがって、効率よく修得すること
- 教職課程の「必修」は必ずしも卒業のための「必修」ではないことに注意

教科及び教科の指導法に関する科目
《各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。))》

- 免許状ごとの教科の指導方法に関する科目
- 各免許状取得のためにはすべて**必修(単位を落とさないこと)**
- **各学部学科の卒業のための単位には使用できない**
- 各学期の**履修登録単位数制限には含めない**
- **教育実習参加には3年次までにすべての修得が必要であり、かつ、履修の順序が決まっているため、途中ひとつでも未修得だと、4年間での教員免許取得は不可能になります**

教育の基礎的理解に関する科目等

- 免許状を取得するための教職について理解するための科目
- 免許状取得のためにはすべて**必修(単位を落とさないこと)**
- ただし、**各学部学科の卒業のための単位には使用できない**
- 各学期の**履修登録単位数制限には含めない**
- 複数の免許状を取得する場合、同じ名称の科目は1つ修得すればそれぞれに使用できる
→たとえばP127の「教職概論」は、P139の「教職概論」でもある
- 「教育実習A(中学)」を修得すれば「B(高校)」は修得不要

大学が独自に設定する科目

- 高「商業」を取得する場合の「道徳教育指導論」のみ該当
- 中「社会」高「公民」、中・高「英語」の免許状取得には**必修**だが、高校「商業」を取得する場合は履修しなくてもよい
- また、**各学部学科の卒業のための単位には使用できない**

介護等の体験(中免のみ)

- 義務教育課程の免許状を取得するためには、「介護等の体験」への参加が必須(東京あだち校舎では、中学校の免許状取得のために必須)
- 授業ではないため単位は発生しない
- 日数は7日間
(2日間:特別支援学校、5日間:社会福祉施設)
- 実施は3年次で、2年次秋に申込を受け付ける
- 体験費用として、15000円を納入する(申込時)

教育実習(中学校または高等学校)

- 教員免許取得のためには必ず教育実習を4年次で行い、単位を修得しなければならない

- 必要な単位数等として次のとおり

免許種	科目	実習先(期間)	実習費用
中「社会」・高「公民」 中・高「英語」	「教育実習A(中学)」(4単位)	中学校 または 高等学校 (3週間)	25000円
高「商業」のみ取得	「教育実習B(高校)」(2単位)	高等学校 (2週間)	20000円

- 教育実習参加のためには必要な科目等の条件があるため、『履修のてびき』で確認のこと

教職課程履修登録(1)



教職課程履修の登録について

- 教員免許の取得は任意(とらなくてもよい)であり、取得希望の登録(教職課程履修登録)が必要
- 免許状取得希望者は、以下の手順で手続きをとること
 - ①「**教職概論**」を履修登録する
・国際学部・経営学部 → 水曜2限(赤坂先生・新井先生)
 - ②ある程度授業が進んだ段階で「教職概論」履修者に連絡するので、**課程履修の希望を提出する**(web上での実施を予定。時期は未定)
 - ③**教職課程履修費を納入する**(大学で納入用紙を発行します)
- 教員免許取得に**興味がある場合は、必ず「教職概論」を履修すること!**
授業を受けてみて「やっぱりやめよう」となれば、課程履修登録手続きの段階で履修登録の削除を認めます。

000000 UNIVERSITY

教職課程履修登録(2)



教職課程履修登録できる免許状について

学科	自学科で取得できる免許状	備考
国際理解学科	A)中学校教諭一種「社会」と高等学校教諭一種「公民」 B)学校教諭一種「英語」と高等学校教諭一種「英語」 ※A)またはB)いずれか一方のみ	・いずれかを登録したうえで、経営学科の「商業」を追加可 ・国際観光学科の学生もいずれかを登録可
経営学科	○高等学校教諭一種「商業」	・自学科の「商業」を登録したうえで、国際理解学科の中「社会」高「公民」または中高「英語」を追加可

000000 UNIVERSITY

教職課程履修登録(3)



教職課程履修費について

- 課程履修登録後に納入いただきます(時期等は別途連絡)
- 課程履修費は、**自学科の課程を登録すると20000円**
- 他学科の課程を登録すると**さらに20000円**
- 課程履修費は卒業まで有効です

000000 UNIVERSITY

麻疹の抗体を有することの確認について



麻疹の抗体確認について

- 麻疹(はしか)は極めて感染力の強い病気であり、きちんと対策していないと、自分が感染した際、重症化したり、学内や学外実習などで他人に感染させ、大きな被害を生む可能性がある
- 過去に大学生の間で麻疹が流行し、大学の閉鎖や教育実習の中止、延期などが生じた
- 一方で、過去に罹患歴があるか、2回のワクチン接種によって抗体を得ることができる
- 教職課程を履修する場合、麻疹の抗体があることを確認する
 - 母子手帳の予防接種欄や、ワクチン接種証明書の写しを提出する
 - 罹患歴も、2回のワクチン接種歴も確認できない場合、抗体価検査で抗体の有無を確認し、不十分であればワクチンを接種いただく(自己負担)
- 詳細は追って連絡します

000000 UNIVERSITY

諸注意



- 教員免許取得のためには、**通常よりはるかに多くの単位を修得しなければなりません。単に「資格がほしい」という気持ちだけで継続するのは困難**です。本当に先生になりたい人だけが登録してください。
- 国際観光学科からの教員免許取得はとくにたいへんです。
- 他学科の免許状を取得する場合、時間割がうまく組める保証はありません。したがって、4年間での取得はお約束できません。
- 教職課程履修登録は1年次春学期中に行いますが、**1年次おわりごろ、教職課程履修の新規登録と、免許種の変更の機会があります(面接等をクリアする必要あり)**。そこが最後のチャンスです。

000000 UNIVERSITY

まとめ



1. 教員免許取得には、「免許取得のための基礎的科目」「教科及び教科の指導法の科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の三区分の単位取得が必要。
2. 「基礎的科目」と「教科に関する専門的事項」の科目は卒業要件単位を兼ねるため、教員免許取得に必要な科目を効率よく選択すること。
3. 「各教科の指導法」「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位は卒業要件には使用できない(履修登録単位数制限にも含まない)。すべて必修であり、科目によっては教育実習の参加要件にもなるため、**必ず開講セミナーで修得すること。**
4. 中学校免許取得には介護等体験の参加が必要(3年次)。
5. 以上をふまえ、**教員免許取得に意欲がある場合は「教職概論」(水2)を履修登録すること。**
6. ある程度授業が進んだところで、教職課程履修希望をとる。そのときに辞退してもOK。希望者には追って納付書を配布するので、**1課程あたり20,000円の課程履修費を納入すること。**
7. 1年次での教職課程履修登録を見送った場合、つぎの機会は2年次春学期からの履修(12月ごろに募集)。
8. 教職課程履修者には麻疹の抗体確認を行う

000000 UNIVERSITY